



# SPUR

スキーで滑った跡のように、  
恵明会も美しい軌跡を残そう

障がいをお持ちの方・生活保護を受けられている方のための施設



■ 救護施設  
**三楽園**  
岡山県津山市津山口308-2  
Tel.0868-22-7347



■ 救護施設  
**ニュー三楽園**  
岡山県久米郡久米南町下弓削687-1  
Tel.086-728-4111



■ 通所授産施設  
**友楽荘**  
岡山県津山市一方216-4  
Tel.0868-23-8333



■ 就労継続支援B型事業所  
**宙**  
岡山県久米郡久米南町上弓削1563-6  
Tel.086-728-0150



■ 共同生活援助事業所  
**サンコート**  
岡山県津山市一方219-11  
Tel.0868-23-6066



■ 軽費老人ホーム  
**イーエスガーデン**  
岡山県津山市津山口307  
Tel.0868-25-2000



■ 軽費老人ホームケアハウス  
**オークパーク**  
岡山県津山市一方216-3  
Tel.0868-23-0989



■ 軽費老人ホームケアハウス  
**ローズガーデン**  
岡山県赤磐市塩木10-1  
Tel.086-954-2000



■ デイサービスセンター  
**赤磐市あかまつ荘**  
岡山県赤磐市塩木11  
Tel.086-954-0077



■ 高齢者福祉センター  
**つつじ荘**  
岡山県赤磐市塩木11  
Tel.086-954-2000

ご高齢の方のための施設



■ 特別養護老人ホーム  
**イーエスサウスヒルズ**  
岡山県久米郡久米南町下弓削647  
Tel.086-728-3111



■ 特別養護老人ホーム  
■ デイサービスセンター  
**ミ・カサ**  
岡山県津山市北町44-1  
Tel.0868-23-3111



■ 特別養護老人ホーム  
**パインスクエア**  
岡山県赤磐市稲蒔1222  
Tel.086-954-0123



■ 養護老人ホーム  
**ときわ園**  
岡山県津山市井口100-1  
Tel.0868-22-4973



■ 保育所  
**KOKKO保育園**  
岡山県津山市津山口327  
Tel.0868-24-1011



■ 保育所  
**倭文保育所**  
岡山県津山市里公文1754-1  
Tel.0868-57-3021



■ 保育所型認定こども園  
**久米こども園**  
岡山県津山市南方中1744-1  
Tel.0868-57-2501



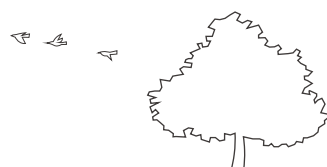
■ 放課後児童健全育成事業  
**久米児童クラブ**  
岡山県津山市南方中1744-1  
Tel.0868-35-0025



■ 障害児相談支援事業  
**たけやりこども相談支援事業所**  
岡山県津山市津山口327  
Tel.0868-20-1708

お子様やそのご家族を支援する施設・サービス

ご高齢の方のための施設



## contents

特集  
1

P2-3  
令和6年度  
**恵明まつりin久米南町**

特集  
2

P4-9  
第1回 恵明座談会  
**”子育てしやすい職場”を考える**

P10-12  
新職員のご紹介

P13-23  
恵明会日記

P14-21  
施設のご紹介





令和6年度  
恵明まつり

in 久米南町



「蓮花太鼓」の皆さん



神事の様子

6月2日、久米南町の救護施設ニュー三楽園にて「恵明まつり」を開催いたしました。久米南町は、救護施設ニュー三楽園をはじめ、特別養護老人ホームイーエスサウスヒルズ、就労継続支援B型事業所宙の3施設があり、平素より施設運営にご協力いただき、格別のご高配を賜っています。日頃の感謝を込めた祭りの始まりは、平成5年11月にイーエスサウスヒルズにて催した「恵明神社祭」で、それ以降現在まで、地域交流の場となっています。今回は、新型コロナのため5年ぶりの開催となりましたが、地域の皆様や利用者様、またそのご家族など多くの方々にご参加いただき、盛大に催すことができました。



祭り会場の様子

ゆずコロ



「上之町活性化委員会」の皆さん

久米南町産  
名物



「舞踏集団宮坂流」の皆さん

おもち



うどん



からあげ



焼きそば

スパニッシュ織り



「久米南町川柳傘踊り」の皆さん

フランクフルト

わらび餅





# ”子育てしやすい職場”を考える

江原恵明会は、「おかやま子育て応援宣言」※1を昨年度行い、宣言をした企業の中でも従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な企業として、岡山県より「アドバンス企業」に認定されました。より一層子育てをしやすい職場にしていけるために、現在、子育てをされている皆さんにお話を伺いたいと思います。

梶岡さんは今年4月から恵明会に勤務されていますが、恵明会の子育て支援の印象はどうか？

**梶岡**：手厚いと思います。他の子育て支援をそれほど知っているわけではないですが、子育てをする上で不便はないですね。一番助かっているのは休みがとりやすいこと。子どものために休まなければいけないことは結構あるので、周囲の方の理解があると本当にほっとします。あと、環境的にありがたいのは看護師がもう一人いることですね。

もう一人の方には、本当に助けてもらってます。私が休んだ日のサポートはもちろん、何より看護業務について気軽に相談できることがありがたい。私は元々病院に勤務していたんですが、そこを辞めて出産して…病院に勤めていた頃からは随分経って

いたので、看護師として勤務することに不安があったんです。ですから、採用面接のときに、看護師の配置が2人以上のところが良いと希望しました。希望が通って本当に良かったです。

**河原**：確かに誰かに相談できる環境はとても大切だと思う。仕事をする上で不安やトラブルはつきもの。それを一人で抱え込むしかない環境と誰かに気軽に相談できる環境とでは、心的負担、仕事の質やスピードに雲泥の差があると思う。それが分かっているから、うち（イーエスガーデン）では、「何でも私に言って来て」と言ってる。みんな、本当に何でも言うけど（笑）そういう気兼ねがない雰囲気が良いと思う。子育て支援の話に戻ると、産休育休で1年以上のブランクがあっけいかなり以前と同じように仕事ができるわけがない。やはり、周りのサポートは必須だと思う。

梶岡さんが恵明会への入社を決めたのは、サポートしてくれる人がいることが決め手ですか？

**梶岡**：それもありますが、面接のときに、三楽園の園長が熱心に話をしてくださったのと、最終的な決め手は保育所ですね。そのときはまだ子どもの保

育所が決まっていなくて、恵明会の保育所に入れてくださるとの話でこちらに決めました。結局はうちの近くの保育所に空きが出て、今はそちらに預けてるんですが（笑）

梶岡さんは現在、パートタイマーですが、正規職員になることは考えられていますか？  
恵明会の規程では、子育て中は申請すれば労働時間が短縮されます。他にも優遇や福利厚生が受けられて、パートよりはるかに給与が良い。周りからも正規職員を勧められると思うのですが。

**梶岡**：確かに、上司からは正職を勧められていて、私も今後のことを考えれば、正職の方がいいかなと思っています。ただ、正職になると他の施設に異動があるんじゃないかと…。責任も増えますし。入職したばかりで職員としても未熟。さらに子育てもあるので、異動の心配をしながら勤務するよりは、パートの方がいいのかなと。

**河原**：確かに。異動って同じ職種なら仕事は変わらないと思われるけど、そんなことはない。新たに覚えることはたくさんある。人間関係も一から場合が多い。

子育てって本当に大変だから、職場のストレスはできるだけなくしてあげてほしいと思う。例えば、子どもが小学何年までは異動なしとか確約があると安心だね。

**梶岡**：そうですね。  
例えば、一般的な企業だと、企業の中核を担ういわゆる幹部候補の総合職とそれをサポートする一般職に別れていることが多いと思います。幅広い業務知識を身につけなければいけない総合職は異動や転勤が当たり前ですが、一般職にはそれがほとんどない。ワーク・ライフ・バランスを重視する職員が増えるなか、一般職のような働き方があっても良いと思いますか？

**河原**：（日本の終身雇用制度が崩壊したと言われるなか）恵明会では、基本的に終身雇用だし、正職の割合も高い。正職は全員、昇進の機会があるのは、とても良いことだと思う。ただ、昇進したい人ばかりじゃないし、柔軟な働き方が求められていることも確か。個人的には良いところを残しながら一人一人に合った働き方ができるようになったらと思う。

梶岡（看護師）  
三楽園 所属

竹花（指導員）  
三楽園 所属

松本（介護職員）  
イーエスガーデン 所属

河原（介護支援専門員／課長）  
イーエスガーデン 所属

働き方でいうと、今度から子育て中の柔軟な働き方を実現するための措置等が義務になります。

- ①始業時刻等の変更
- ②テレワーク等(10日/月)
- ③保育施設の設置運営等
- ④新たな休暇の付与(10日/年)
- ⑤時間短縮制度

から事業主が2つ以上を選択 また、2025年4月から3歳に満たない子を養育する労働者がテレワークを選択できるよう措置を講ずることが、事業主に努力義務化されます。

柔軟な働き方については、③と⑤ですすでに基準を満たしていますが、努力義務のテレワークについてはどうですか？

介護・看護職員のテレワークについて、厚生労働省は基本認識として、「利用者の処遇に支障が生じない範囲内であれば、テレワークを実施しても差し支えない」としています。テレワークも選択できる業務の具体例としては、事務・書類作成や外部の専門職との連絡調整、家族との面談など。利用者を直接処遇する業務については、「原則テレワークは認められない」と規定していますが。

**梶岡:** 入職したばかりで何とも言えないですが、三楽園の看護業務はデスクワークも結構あるのでテレワークは可能なんじゃないかなと思います。

**松本:** 介護はなかなか難しいかも。ケース記録の記入や書類作成などのデスクワークもあるけど、テレワークの人に報告して書いてもらうより、自分で書いた方が効率的だし…。

**河原:** テレワークについては、コロナ禍で実施した施設もある。今後義務化されることを見越して、どの職種も平等に選択できるよう、柔軟に考えていけないといけないのかも。

話は戻って、異動のストレスについてですが、子育て中に限らないと思います。異動のストレス軽減策のようなものが必要だと思いますか？

**河原:** そういうのに取り組めたらいいよね。どこの施設に行ってもストレスなく楽しく働けるというのが理想。あと、異動するにしても、事前の話

し合いが十分できているのといないのでは、ストレスが全然違うと思う。

日頃から上司と部下がコミュニケーションを密にすることが大切だと思う。

恵明会では来年度からキャリアパス制度<sup>※2</sup>の導入を目指していますが、上司と一緒にキャリアを作っていくイメージですね。

**河原:** そう。それに加えて、横の繋がりを強化できたらと思う。法律上難しいこともあるけど、人を融通し合ったり、今以上に柔軟にサポートし合えないかなと。

横の繋がりについては、来年度から導入予定のエンパワーメント<sup>※3</sup>の一環として行っていく予定です。知識やアイデアの共有を目指していますが、もっと施設間の垣根をなくして、法人全体で利用者の方や園児をみるというイメージですか？

**河原:** できたらいいと思う。子育てとは直接関係ないけど、地域との垣根もなくして、大きなコミュニティを作れたら理想的。例えばだけど、老人ホームの1階が喫茶スペースになっていて、地域の人の憩いの場になっているとか。

確かに地域コミュニティの再生は以前から盛んに言われています。考えていくべき課題ですね。

育児休業の取得についてですが、どうですか？産後休業6週間は法律で義務付けられていますが、産前休業と育児休業は任意。

育休の取得率は、女性の全国平均で80.2%（2022年度）ですが、恵明会では、女性の産前産後休業と育児休業ともに取得率は100%。

やはり、取りやすい環境ですか？

**松本:** 今はすごく取りやすい。特にイーエスガーデンは河原課長が「どんどん取って」っていう人だから。でも、昔は、取るのが申し訳なかった。私は子どもが4人いるけど、2人目3人目ってなると、他の人に負担がかかるんじゃないかと後ろめたい気持ちになった。他の人に直接何か言われたわけではないけど、あまり歓迎されている雰囲気は無かった気がす

る。だから今はすごく恵まれている。

子どもの時期って二度と戻ってこないから、私は大切にしたい。

**河原:** 私も子どもが4人いるけど、昔は確かに後ろめたさがあった。世の中的にも今ほど育児を応援する雰囲気がなかったし。でも、3人目のとき、当時の男性園長が「おめでとう!!」ってすごい喜んでくれて、それは本当に嬉しかったし、自分も同じように歓迎してあげようと思った。

ただ、人事をしている法人本部は正直大変だと思う。労働者不足の中で職員を新たに補充しなければいけないし、1年半後に育休明けの職員が戻ってきたら余剰人員になるわけで、1年半契約で良いという職員が都合良く見つかるばかりではない。

確かに。さまざまな人の努力によって組織は支えられているんですね。

職員が産休育休を取るにあたってですが、仕事の引き継ぎはスムーズですか？

**河原:** 長期休暇は何も産休育休だけじゃない。介護休暇や病気休暇もある。

仕事は誰がいつ抜けてもいいようなフォロー体制ができてる。「誰かしか知らない仕事」というのを無くして、なるべくみんなができるようにしたい。

私も昔、産休育休を取るとき引き継ぎが大変だったから、今はそれを無くしてあげたいと思っている。

他の職員への負担はどうですか？

昔、育児休暇が歓迎されなかった理由として、他の職員への負担増が挙げられると思いますが。

**松本:** 今のイーエスガーデンではあんまり感じないかな？私も産休育休のときは、本当にみんなに助けてもらったから、今度は私がサポートにまわってみんなの出産育児を応援してあげたい。

**河原:** 職員配置は満たさないといけないけど、仕事自体は一人二人抜けても何とかなると楽観的に考えている(笑)。

そして、何とかするのが課長の仕事。

でも、これからは、大幅な業務の効率化が必須だと思う。やっぱり仕事やしんどいと職員の不満に繋がるだけでなく、サービスの質の低下にも繋がるし、新たなことを考える意欲も湧いてこない。

何より、他の職員に「子育てする職員ばかり優遇されている」と思わせないようにしないとイケない。

今後ますます労働者不足が深刻になる中で、国も業務の効率化を求めていますよね？

**河原:** 介護報酬の加算要件にもなっているから、他の施設でも取り組んでいると思う。

効率化できるところは、大胆に効率化して、余った時間でサービスの質は上げていく。簡単なことではないと思うけど。

業務の効率化はこれからの施設運営の鍵になってくると思いますか？

**河原:** そう思う。

男性の育児休業についてですが、2022年度の取得率(全国)は17.13%。国は2025年までに50%、2030年までに85%を目指すとのこと。

現在、従業員が1000人を超える企業で男性労働者の育児休業取得率等を公表することが義務付けられていて、2023年度は46.2%の会社の社員が育児休業を取得。

公表の義務化を受けて、男性の取得率がアップしているようです。

2025年度から従業員が300人超の企業も公表が義務化されるため、恵明会も公表の対象となりますが、男性の育休をどう思いますか？

**竹花:** 僕は5歳の子どもがいるけど、5年前は父親の育休なんて考えもしなかった。でも、もし、今赤ちゃんがいるとしたら、どうだろう。奥さんが希望したら取るかな？やっぱり僕は家族が一番だし、家族のために仕事をしているから。今も子どものために休みを取ることは多い。育休中に僕が家にいて、





役に立つかは分からないけど(笑)

最近、奥さんの方が給与が良かったり、会社で重要なポジションについていることも多いから、そういった場合は、男性が育休を取れば良いと思う。

現在、育児休業中の給付は育休前賃金の67%。育休中は社会保険料が免除され、収入の手取り額が育休前の8割になるように設定されています。

それが、2025年4月から夫婦ともに14日以上育児休業をとった場合、給付率が80%に引き上げられます。社会保険の支払いが免除なので、実質100%の給付となるようですが、どう思いますか？

**竹花:**特に男性は給与の面で、育休取得を躊躇する人が多いと思うから、給与が保障されるなら取るが増えるんじゃないかな？

若い人は今までと意識がだいぶ違うだろうし。

ただ、本人たちが望んでいないのに「育休を取らなければいけない」という逆の圧力になってしまうのは、本末転倒だし、取った人と取らなかった人に不平等がないようになら良いと思う。

女性の皆さんは、男性に育休を取ってもらいたいのですか？

**松本:**男性が育休を取るのはいいことだと思う。でも、私の旦那さんには、働いてもらいたいな。私の場合は、同時にとるメリットってあまり感じないし、期間をずらして取るのも…。

**河原:**私も男性の育休には大賛成。取りたい人はどんどん取ってもらいたい。

ただ、今は法人内で前例がないから、誰か率先して取る人がいなければ、最初は取りにくいかも。

あと、男性の育休ありきで考えるよりも、それぞれが、子育てしやすく、仕事をしやすい環境を整えてあげるのが一番大切だと思う。

ちなみに、私の旦那さんとは同時にが良いかな。どうしたら良いか分からないだろうからね。

**梶岡:**私は一緒に休みを取ってもらいたい気もしますが、長期間だとどうかな。

**河原:**たしかに。長期休暇というよりも(相手の会社も)必要なときに休みやすい環境だったらいい

と思う。体調が悪いときとか、学校行事のときとか。他にも恵明会でいえば、子どもの誕生日休暇とかあってもいいかも。

子育てとは関係ないけど、夫婦それぞれの誕生日休暇とか結婚記念日休暇とか。有給休暇を取ればいい話なんだけど、そういう特別休暇が別にあると家族を大切にしている法人なんだなって思う。

確かに子どもの誕生日休暇とかはキャッチー。特に若い人には響くかもしれませんね。

他に、子育て支援で新たにしてほしいことはありますか？

**松本:**私は子どもを気軽に職場に連れて来れたら良いと思う。

育児スペースを設けてる会社もありますよね。育児しながら仕事ができるように。

**松本:**小さい子だと育児スペースでもいんだけど、小学生くらいの子だったら部屋に押し込めるんじゃないくて、利用者の方に勉強教えてもらったりとか、将棋や囲碁を一緒にやってもらったりとか。他の人と触れ合いながらある程度自由に遊ばせられたら理想的かなと。

今でも恵明会内で職員の子どもの職場体験はできますが、もう少し踏み込んで、例えば、保育所とかだったら、年下の子の面倒をみるみたいなの？

**松本:**そう。そこまでじゃないけど、県内の他の福祉施設でも育児に先進的な考え方のところはある。土日出勤のときとかは、普通に子どもを連れてきて仕事をしている。

もちろん、職場に子どもを連れて来たくない人もいるだろうから、「子ども連れて来れるんだから土日出勤して」と強要するのはだめだと思うけど…。

ただ、子育てだけでなく、最近はいろいろなことがすごく窮屈になってきているから、いろいろと整備が必要だと思うけど。極端に線引きされていて、事故があったら…とか、感染症が…とか、こけてちょっと怪我したらすぐ責任問題になる。

そのことへの配慮も当然必要だけど、過剰反応して、どんどん人が人から隔離されていくのはいいことなのかなと、ときどき疑問に思う。

確かに今は、多様性の時代のはずなのに、逆に画一的になっていっている気がしますね。

三世代四世代同居が当たり前の時代には、子どもの周りには誰かいたし、子どもはさまざまな価値観の中で育つことができたように思います。

例えそうでなくても、昔は地域のコミュニティがしっかりしていて、親がそれほど手をかけなくても子どもは地域の中で勝手に育つ印象でしたが、社会を支えている土壌の価値は失ってから気づくことが多いですね。

**松本:**確かにそう。子育てが母親だけだと負担が大きすぎて母親にも子どもにも余裕が無くなる。子どもは大人を見て育つから、お互いを尊重する多くの大人のなかで育ってほしいし、もっと大らかな環境で育ってほしい。せつかく社会福祉法人なんだから、少しづつでも法人全体で子どもを育てるかんじになっていけたらいいと思う。

今、分断されてしまった世代を改めて繋ぎ、子ど

もも大人もウェルビーイング<sup>※4</sup>な地域を目指す活動が見られるようになってきました。恵明会でも取り組んでいけたらいいですね。

最後に、育児・介護休業法において、事業主に対し、企業全体の雇用管理方針の中で仕事と家庭との両立を図るための取組を企画し、実施するという業務を担当する「職業家庭両立推進者」を選任するように努めなければならないと規定されています。

職業家庭両立推進者についてどう思いますか？

**河原:**良いと思う。子育てだけじゃなくそれぞれの家庭にはそれぞれの事情があるから、そのことに配慮してどの職員も家庭を大切にできる職場でなくてはいけないと思う。施設ごとに意識の違いは当然あるから、法人全体の意識を統一させてより良い方向に進んでいってくれたらと思う。

貴重なご意見、ありがとうございました。

※2 キャリアパス制度...目指す職位や仕事につくまでに必要な技術、能力、資格などを示し、制度化したものです。

※3 エンパワメント...ビジネスの場では、「自立性促進」「権限委譲」「能力開花」などの意味で使われます。

※4 ウェルビーイング...身体だけでなく、精神的、社会的にも満たされている広い意味の幸福・多面的な幸せを表す言葉。

※1  
**「おかやま子育て応援宣言企業」とは、**

従業員の子育てや地域における子育てを応援するための具体的な取組を企業・事業所等に宣言し、岡山県が登録する制度です。

そのうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に、特に積極的な企業が「アドバンス企業」に認定されます。

— 恵明会は下記の項目を満たし認定されました —

- ☑ 女性労働者の育児休業等の取得割合が基準を達成している。
- ☑ 短時間勤務制度等の実施状況が基準を達成している。
- ☑ 時間外労働及び休日労働に関する条件が基準を達成している。
- ☑ 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置が実施されている。

おかやま  
子育て応援宣言企業  
アドバンス・2023年度



新職員のご紹介



所属：保育所  
KOKKO 保育園  
職種：保育士  
好きなこと：音楽を聴く



休みの日は家でたくさん寝て子どもたちと一緒に楽しく元気に過ごすための英気を養っています。



所属：保育所  
KOKKO 保育園  
職種：栄養士  
好きなこと：旅行・飛行機



子どもたちのために美味しく栄養の満点の食事を作って、楽しいことがたくさんある毎日になったらいいなと思います。



所属：保育所  
KOKKO 保育園  
職種：事務員  
好きなこと：旅行



保育園に勤務するのは初めてですが、早くお役に立てるように、精一杯頑張りたいと思います。



所属：ケアハウス  
オークパーク  
職種：介護職員  
好きなこと：家族と過ごす



利用者様と関わることが好きでこの仕事にとってもやりがいを持っています。皆様に寄り添い、思いやりをもって努めていきます。



所属：ケアハウス  
オークパーク  
職種：介護職員  
好きなこと：旅行



毎日仕事に充実感を感じながら過ごしています。利用者様やご家族に合った丁寧な支援ができるよう頑張っていきます。



所属：軽費老人ホーム  
イーエスガーデン  
職種：看護師  
好きなこと：旅行



利用者様が安心安全で穏やかに過ごしていただけるようお手伝いさせていただきたいと思っています。



所属：認定こども園  
久米こども園  
職種：保育士  
好きなこと：お菓子作り



子どもたち一人ひとりのかかわりを大切にしながら、子どもたちや保護者の方に寄り添い前向きに頑張ります。



所属：保育所  
倭文保育所  
職種：看護師 ちょっとした  
好きなこと：DIY



かわいい子どもたちと一緒にいると心が和みます。子どもたちの成長や健康、安全のために微力ながら頑張ります。



所属：保育所  
倭文保育所  
職種：保育士  
好きなこと：スノーボード



子どもたちの気持ちを大切にしながら寄り添い、信頼される保育士になれるよう笑顔で楽しく努力していきたいです。



所属：養護老人ホーム  
ときわ園  
職種：介護職員  
好きなこと：散歩



利用者様一人一人と丁寧に接し、皆様が穏やかに過ごせるようお手伝いできればと思います。



所属：特別養護老人ホーム  
パインスクエア  
職種：介護職員 特にアクション映画  
好きなこと：映画鑑賞



初心を忘れず、利用者様のために日々研鑽していきたいと思っています。よろしく願いいたします。



所属：就労支援B型事業所  
宙  
職種：支援員  
好きなもの：美味しいもの



持ち前の元気さを活かして、利用者様と一緒にどんどん新しいことに挑戦していければと思います。



新職員のご紹介



所属：救護施設  
三楽園  
職種：介護職員  
好きなこと：食べること



初めての福祉施設勤務で慣れないことも多いですが、利用者様にご不便をおかけしないよう精一杯頑張ります。



所属：救護施設  
三楽園  
職種：介護職員 ゲームと  
好きなもの：ぬいぐるみ



何事も勉強だと思い、新しいことを吸収しながら、自分なりに成長していけたらと思います。



所属：救護施設  
三楽園  
職種：介護職員  
好きなもの：猫



初めての業種での仕事とあって、分からないことだらけですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。



所属：救護施設  
三楽園  
職種：看護師 美味しいものを  
好きなこと：食べに行くこと



まだまだ不慣れで環境に慣れることから始めていますが、皆様と仲良く働けていけたらいいなと思っています。



所属：特別養護老人ホーム  
ミ・カサ  
職種：介護職員  
好きなこと：壁面制作



利用者様の生活に寄り添い、穏やかに過ごしていただけるように、自分らしく頑張っていきたいと思っています。



所属：特別養護老人ホーム  
ミ・カサ  
職種：介護職員 子どもとゆるゆる  
好きなこと：サイクリング



昨年9月に入職いたしました。これからも利用者様に色々とお教えいただきながら頑張っていきたいと思っています。

恵明会日記 #1

三楽園

「副園長、課長、時々主任」

〈利用者のI課長〉

土日祝、三楽園の作業が休み日は施設全体がのんびりとした雰囲気だ。朝9時過ぎ。ふらっと事務所に来られるIさん。ノックされ「失礼します」と言っに入室されることもあるが、たいていはシレッと入れられ、課長の席にスツと座られる。それもそのはず、入所されて15年。ほとんどの職員が先輩で、三楽園は自分の家なのだ。

今日も今日とて課長の席へ自然に座られ、黙々と仕事をしている職員を見回す。本日の課長のような貫禄だ。そして、一言「おやつ」。すかさず、「(おやつ)の時間は」10時です、I課長!と私。すると、「課長じゃないわ」と言いつつ、仕方ないなあというしわくちやの笑顔を浮かべ、「また来るわ」と言っ事務所を後にされる。

10時。再び来られたIさんと一緒におやつ袋を覗く。「どれにします?」「これ」「えっ!こんなに多いのですか?」「食べられらあ」この攻防でいかに少ない量で納得してもらおうかが職員の見せ所だ。しかし、今日はやや分が悪い。攻防の末、Iさんは戦利品を満足そうに居室に持ち帰られた。

以前のIさんは痩せ型だった。しかし、ここ一年くらいで徐々に体重を増やしてしまった。本当は作業が休みの日くらい好きなだけおやつを食べていたきたい。しかし、健康のことや足腰の負担のことを考えると職員としては量を調整していただきたいのも確か。

Iさんは職員をよく理解されている。その日の気分によって、声を掛ける職員を選ぶ。新人職員を選ぶときは大量を狙うとき。ベテラン女性職員を選ぶときは甘えて超大物を狙うとき。上手に職員を使い分けている。やはり課長の椅子にスツと座られるだけある。長年蓄積されたノウハウがすごいとつい感心してしまう。

〈利用者のY副園長〉

14時。今度はYさんが事務所に来られる。

Yさんが来られるのは、たいてい14時~15時の間だ。「おやつをください」と丁寧に言われ、いつものように副園長の席に着席。職員が準備していたおやつをお渡しすると、その席で静かに食べられる。そして、外から帰って来た職員に「Y副園長、いらっしやい」「Y副園長、美味しそうですね」と声を掛けられ、真顔で「いいえ(副園長ではありません)ん」と言うのだ。

Yさんは以前食事を何度か喉に詰めてしまった。それ以来、おやつは事務所で食べていただくことになった。Yさんは、おやつをとっても美味しそうに食べられるので、職員はこうしてYさんを見守る時間が大好きだ。

〈利用者の〇〇主任〉  
こんな風に休日の三楽園の事務所は賑わう。また他の利用者様が来られた。その利用者様が主任の席に座れば「〇〇主任」と声を掛ける。相手を打ち上げるこのネタは鉄板で、利用者様は「冗談を言っえ」といった感じでいつも表情を緩められる。

恵明会日記 #2

サンコート

「ベンチのある風景」

恵明会は玄関先にベンチが置いてある施設が多い。送迎を待つ利用者様のために置いたのだろう。私はベンチのある風景が好きだ。利用者様が談笑していたり、散歩帰りの方が一休みしていたり、職員がバインダーを手利用者様に聞き取りをしていたり、何でもなに見えるからだ。

ふと、なぜそう見えるのかと考える。おそらく部屋の椅子より自然との距離が近いからだろうと自分なりの答えを出す。外で食べるご飯の方が美味しく感じるように、大きな木の傍が心地よいと感じるように、人はより自然に近いと幸福度が上がるのだと思う。

サンコートの前にもベンチがある。利用者様の隣に座り、いつものように食事のアドバイスなどをしながら目の前の畑に目をやる。いちごの苗に紋白蝶が飛んでいる。春風に吹かれながら、これはこれで良い屋下がりだと思ふ。



コッコ  
KOKKO 保育園

保育  
水あそび

今年も子どもたちが待ちに待った水あそびが始まりました。新型コロナウイルスが5類となり、今年5年ぶりにESプールを開けて水遊び開きをしました。ESプールとは、隣の老人ホームにあるプールの愛称で、子どもたちは「冷たい!!」「きもちいい!」など初めてのESプールに目を輝かせていました。3歳児クラスは、まだスイミング教室がないため、大きなプールが嬉しくて「先生!プール入ろう!」と水あそびを心待ちにしています。コロナ禍で行っていた運動場の水あそびではできない、バタ足やワニ歩きなど、年中年長クラスに憧れて真似をする子どもたち。来年はスイミングで「大きなプールに入ろうね。」と話しています。



トマト収穫～!

しとり  
津山市立 倭文保育所

保育  
感触あそび

3歳以上児のクラスでフィンガーペインティングをしました。フィンガーペインティングとは、のりと絵の具等を混ぜ合わせた手触りのよい教材で、手や指を使って自由に描く行為が楽しめる表現技法です。子どもたちは遊びの中で「わあ!」と驚いたり、「冷たくて気持ちいい」と感触を楽しんでいました。また、「○○ちゃんは何色かな…?」とのぞき込んだり、友だちとタッチをして色を混ぜ合わせ「先生見て!○○色になった!」と色の変化を発見し、塗りつけや手のひらのスタンプを色々と試して友だちと盛り上がりました。ペイント中はとても楽しそうな笑顔がたくさん見られ、会話も弾んでいました。



オオイヌノフグリかなあ?

くめ  
津山市立 久米こども園

保育  
たてわり保育

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことで、約4年ぶりに年長・年中・年少クラスの縦割り保育を行いました。各クラスの保育室を制作遊び・運動遊び・新聞紙遊びのコーナーにし、縦割りのグループに分かれて活動しました。製作の補助や、じゃんけん列車・触れ合い遊びなど、いつもは先生やおうちの方にしてもらうように年中児や年少児に優しくかわる年長児の姿。そんな年長児に少し恥ずかしそうにしながらも、関わってもらうことで嬉しそうな笑顔を見せる年中児や年少児。普段の保育では味わえない体験を通じ、子どもたちの感性や他者を慈しむ心が育まれる、子どもたちの育ち合いの場となりました。



シャボン玉とれるかな?

くめ  
久米児童クラブ

教室  
防災体験教室

地域の方主催の防災士さんによる「夏休み防災体験教室」に参加しました。子どもたちは「お・は・し・も」「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」と新たに「泣かない」の「な」がついた災害時に守らなければならない基本を学びました。また、防災マップが百年に一度の災害想定から千年に一度の災害想定と改訂され、より大きな災害が起こることを考え、行動する必要があることなどをクイズ形式で学びました。平成10年の台風災害では181号線は川の増水で避難することが難しかった体験談を伺い、早めのお迎えや閉所のタイミングなどしっかりと計画を立てておくことが何より大切だとアドバイスをいただきました。



いっぱい捕るぞ!



イーエスガーデン  
軽費老人ホーム ES Garden

日常  
無農薬野菜

利用者様の畑の野菜や果物が春から夏に向けぐんぐんと成長し、収穫の時期を迎えています。玉ねぎやジャガイモは苗から植え、収穫時には見学される利用者様も一緒に畑へ出向き作業を見守りました。

この畑は「就労支援B型事業所宙」で製造している万能発酵液を噴霧したことで、農薬を使わなくても、今まで以上に作物の勢いが増し、玉ねぎ、ジャイモの他、いちごも大きく甘い粒となりました。

畑作業をされる利用者様も見学される利用者様も育てる楽しさと、目で見る楽しさを実感されながら、採れたての無農薬野菜を手に、とっておきの笑顔を見せてくださいました。



グリーンヒルズにて

オークパーク  
ケアハウス Oak PARK

レク  
有志で集う

5月から健康維持のため、オークパーク1Fホールにて利用者様が自主的に集まってラジオ体操をしたり、懐メロや童謡を歌っています。10名を超える方々が集まることもあり、お互いのコミュニケーションを深めるだけでなく、ストレス緩和にも繋がっているようです。さらに、コロナ渦では、皆様お部屋の中で過ごされることが多かったので、お部屋から出ることにより日常生活にもメリハリがついている様子です。また、声を出すことにより嚥下状態も改善傾向にあるのか食事を完食される方が増えました。楽しみが増えたことにより日常生活には活気が見られ、参加される方の表情も豊かになっています。



お姫様みたい!

ローズガーデン  
ケアハウス Rose Garden

レク  
七夕様に願う

七夕に願い事をする由来をご存じですか? 機織りの名手の織姫にあやかって、裁縫の上達祈願をしたのが最初なのだそう。今日は、七夕会。利用者様に七夕飾りを作っていただきました。色紙で作ったのは、天の川を模した「輪飾り」や豊漁祈願の「貝飾り」、そして、裁縫上達祈願の「菱つづり」。七夕飾りを作るは久しぶりと言われる方が多く、皆様、楽しんで作業をくださいました。短冊に書かれた願い事は、「デイサービスを元気に続けていきたい」など、多くは健康祈願でしたが、織姫にあやかって「昔に作っていた着物を縫いたい」などの願い事も。ちなみに私は、利用者様の末長いご利用とご多幸を短冊にしたためました。



似合うかしら?

ミ・カサ  
特別養護老人ホーム  
デイサービスセンター Mi Casa

行事  
七夕会・夏祭り

7月は、七夕会をユニットごとに行いました。利用者様と職員がそれぞれに思いを込めて短冊を書き、ユニットに設置した笹の枝に飾りました。おやつは職員が和菓子店で選んだ清涼感のある水まんじゅうをお出しすると、利用者様も「めずらしい! 美味しい」と大好評でした。

8月は、夏祭りを施設全体で行いました。夏祭りは、ボランティアで来てくださった美作大学の高知県民会サークルの学生の方による「よさこいソーラン」の踊りから始まり、職員と音楽仲間のデュオ「sax小町」による歌謡曲の演奏、最後は風船バレーで身体を動かし、笑顔あり、感動の涙ありの楽しい時間を過ごしていただくことができました。



七夕飾りと一緒に

※上記は、ローズガーデンに併設されたあかまつ荘の記事です。



パインスクエア  
特別養護老人ホーム Pine Square

研修  
緊急時に備えて



日本全国で急激な大雨による水の被害が多発しています。緊急時に備えて、6月に避難訓練を実施しました。今回は大雨による道路の浸水で、緊急避難所への避難が困難な状況を想定した訓練です。利用者様をいかに早く、安全に上階へ避難させられるかを第一に、避難経路や順序、備蓄品の移動や確認と一つ一つを職員で確認しながら行いました。また、赤磐市消防署の協力のもと、心肺蘇生・AED講習会を行い、利用者様に急変があった際の対応方法について講習を受けました。記録的な大雨が身近なものとなり「自分が勤務の時に発生したら」と当事者意識を感じながら緊張感のある訓練が行えました。



命を守るために

イーエスサウスヒルズ  
特別養護老人ホーム ES South Hills

レク  
七夕祭り



施設内のイベントは、利用者様同士の交流の場にもなっています。共同作業をしていただくとうちに打ち解け、会話も弾みます。7月の七夕祭りで行ったのは、七夕飾り作り。色とりどりの折り紙を切ったり、折ったり、のり付けして「この色と合うかな?」と試行錯誤の手作業を楽しみながら次々に素敵な七夕飾りが出来上がりました。短冊には「元気に長生きできますように」「家族が幸せでありますように」など定番の願い事や、「大金持ちになりたい」「乙女肌」など若い感覚の願い事も。ご自身で書くことが難しい方は職員が代筆し、笹に結びました。皆様の願い事が織姫様と彦星様に届きますように。



私のオリジナルのうちわ

津山市立 養護老人ホーム ときわ園

日常  
畑作り



ときわ園の敷地の一角に小さな畑があります。今の季節は、トマトやカボチャ、きゅうりなどの夏野菜が所狭しと生っていて、どの野菜も店頭に出しても良さそうな出来栄です。畑は長らく手つかずでしたが、1年程前、利用者様から畑をしたいとの申し出があり、今はその利用者様が管理されています。利用者様は「私は畑仕事が好きなので、楽しく作らせてもらってます。最初は勝手が分かりませんが、近所の人に色々教えてもらいながら、ここまでのものになりました。出来た野菜を近所の人や他の利用者さんにおすそ分けすると、皆さん喜んでくれるので、それが嬉しい」と話されます。



見て!べっぴんさんな花やで

救護施設 三楽園

行事  
工場見学



腸内には、約1000種類、100兆個もの細菌が生息しています。腸内細菌は肥満、糖尿病、大腸がん、動脈硬化症等の疾患と密接な関係があり、体の健康には、腸内にビフィズス菌や乳酸菌などの善玉菌を増やすことが重要です。そのことを利用者様に知っていただこうと、園行事で乳酸菌飲料の製造工場へ見学に行ってきました。見学した乳酸菌飲料は、会社の創始者である医学博士が京都帝国大学で乳酸菌の強化培養に成功し、それを飲料にしたことが始まりなのだそう。工場では製造ラインの見学だけでなく、製品の歴史や菌の働きを学ぶことができ、利用者様は「へえ」といった表情で説明に聞き入っていらっしゃいました。



完食おめでとございます!

※参考：(厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト) e-ヘルスネット



救護施設 ニュー三楽園

レク  
楽しく健康に



ニュー三楽園では毎週水曜日、看護師が考えた体操やレクリエーションを行っています。参加は自由ですが、上位の方には豪華！？な賞品を用意していることもあって、毎回多くの方が参加してくださいませ。今回はグランドゴルフのスティックを使って少し先のゴールへボールを入れるゲームです。一人づつ順番に行き、周りの利用者様が応援します。プレイされる方が体の向きや力加減など自分で考えながらボール打ち、ゴールに入るとみんなで拍手!!「すごい!」「上手~!」と歓声が上がり、プレイにも熱が入ります。暑い時期は歩くのも億劫ですが、レクで楽しく運動不足を解消していただいています。



ベスト  
ショット/  
📷

みんな一緒にいいね

通所授産施設 友楽荘

行事  
山の中で深呼吸



5月の園行事の行き先は智頭の山菜料理の店。山の中に構えてある門を潜れば、茅葺屋根の庵、放し飼いの鶏、百年前の農村にタイムスリップしたような空間が広がります。開け放した障子の先の轉りを聴きながらいただくのは、山菜の天ぷらやあまごの塩焼きなど。以前は焼肉が一番だった利用者様も最近はこうした自然の料理を好まれる方が多く、今回も大好評でした。食後は近くの小川まで足を延ばします。利用者様は「気持ちの良い所ね」と深呼吸。「森林浴は免疫力が50%以上向上するらしいですよ※」と伝えると、「いっぱい吸っとこ」と、さらに呼吸を深くして山の香りのする空気を体いっぱいに取り込まれていました。



ベスト  
ショット/  
📷

夏の思い出

就労継続支援B型事業所 宙

行事  
ピザづくり



6月、みんなでピザ作りの体験に行ってきました。朝、うどんの生地作りと内職を終えてから、車2台で総社市にあるピザが作れる大型園芸店を目指し出発! 現地に到着し、スタッフの方に案内された部屋に行くと、各テーブルにうどんの生地と同じような白いかたまりと道具が用意されており、みんなワクワク、ドキドキしながらまあるく伸ばしていきました。「難しいなあ~」と言う声があちこちから聞こえてきましたが、トッピングを終えるころには、それなりに美味しそうなピザが出来上がりました。ピザ窯で焼いてもらった後は、みんなでいただきます。「美味しい!」自分の作ったピザは格別で、とても満足な味になったようです。



ベスト  
ショット/  
📷

子猫じゃない?

共同生活援助事業所 サンコート

日常  
オセロをしながら



お盆の初日。朝晩は少し涼しくなりましたが、日中はまだまだ茹だるような暑さ。会う方会う方に「暑いですねえ」と言いながら午前中の仕事を一通り終えます。事務所の前の共有スペースで利用者様の様子を伺っていると、作業所から帰ってこられた利用者様の姿が。少し涼んでから帰省すると言われるので、部屋は暑いのでここで涼んでどうかと提案。ちょうど同じ時に降りて来られた他の利用者様と一緒に、オセロを一局することになりました。二人ともオセロは久しぶりとのこと。職員二名が暫く見守っていましたが、良い手を逃す利用者様に「そこじゃないですよ!」「角が取れます」などと思わず職員の方が白熱してしまいました。



ベスト  
ショット/  
📷

勝った~!!

※参考：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所のデータ



「経済通の利用者様」

朝の9時半過ぎ、廊下の掃除機の音がやみ、パンパンと手を叩く音がしたかと思うと、事務所のドアが勢いよく開く。突進するように入ってきたのは掃除当番を終えた利用者のMさん。Mさんを担当している職員曰く、手を叩くのはMさんの機嫌が良い証拠だそうで、表情を見るに確かに今日もご機嫌の様子だ。

「他の方は作業されているので、ご用は後にされたらどうですか？」Mさんにいつものように声掛けをする、これまたいつものように「うるさい、うるさい、予定を見んといけんんじゃない」と言葉を遮られる。「予定は外にも貼ってありますよ」「ええい。このを見んといけんんじゃない。そうじゃ！（今週の生活費の）払いだしは何円にしたらえんかな？という千垓百京一兆五千億円くらいえ」傍若無人に振舞われても皆に好かれるのはMさんの人徳だろうか？毎日こうやって職員とやり取りされない満足されないの、Mさんの好きな話題で話をすることにする。

Mさんが好きな話題は、政治経済。病院の待合室に新聞があると必ず広げられるし、コンビニで熱心に立ち読みをしている本を見てみると経済専門誌だったりする。特に新しい言葉に興味を持たれるので、それを意識して話をする。「そんなにお金が必要なら新ニースでもされたらどうですか？非課税投資の」今話題の内容を振れば、目を輝かせて話に飛びつかれる。「投資は儲かるんじゃないかと無くなってな」と鋭い返しをされる。「で何に投資するんなあ。通信会社か？自動車会社か？」「そういう堅い銘柄は高いですからね、今は海外のものが多くんじゃないですか」「なに！海外に投資したら、お金がどんどん海外に行ってしまうやろうがな」「よくご存じですね！円安の原因の一つらしいですから、やはり日本企業を応援してあげた方がいいですよ。でもMさんは自分さえ儲かればいいんですよ？（笑）」「そんなことない！世のため人のために生きとる。こんなええ人どこにもおらん。そう思え！それよりも石油を売った方がええわ。5千兆バレルくれえ。それが新しいワクチンを

ばあっと売ってな」「レプリコンワクチンですか？」「そんな名前だっただかあ」「10月から始まるのならそうじゃないですか？」「どう新しいなあ」「自己増殖型ワクチンで、一度打つと長期的に体内でスパイクたんぱく質が増殖し続けるらしいですよ。世界で初めて日本で認可されたみたいですね」と厚労省のサイトの内容を説明すると「そんな怖いやんか」とわざと子どものような声を出される。「確かにシエディングも強いという噂で、日本看護倫理学会も緊急声明を出してましたけど…プロが作ったものですかね。でも人が作るものが不安ならAIに作ってもらいましょう」「そんなしたらAIに乗っ取られるやないか」これまた鋭いことを言われる。「シンギュラティが起ころるまでは大丈夫ですよ。でも人もAIも不安ならMさんが自分で良いものを作るしかないですね。頭良いんですから」「そんなんわしにできるわけなろうが」と言いながら、まんざらでもなさそうに口の端を上げられる。新しい情報得て満足されたのか、今日は比較的短時間で「ほな」と言って、また突進するように事務所から出て行かれた。

編集後記

趣味を聞かれたら、「年表づくり」と答えるようにしています。歴史好きの方は案外多く、相手の興味深い歴史観を知ることができると、とても得をした気分になるからです。

考えが行き詰まると歴史を頼るのは定石で、年表づくりは物事を俯瞰する訓練の一つです。「鳥の目、虫の目、魚の目」と言われますが、人の目だけでは同じものしか見えず、価値観が凝り固まってしまう。理解できないことには恐怖心を抱き、防衛本能で攻撃的になります。鳥の目で俯瞰し、虫の目で追究し、魚の目で潮流を読む。私の知識には限りがありますが、それでも出来る限り多くの視点を持つことで、自分が如何に狭い世界で物事を考えていたかに気づくことができます。

さて、今回の特集は子育て支援の座談会です。様々な意見を聞くと、そういう考えもあるのかと、新たな視点を持つことができます。多くの視点によって物事が磨かれ、より良い法人になっていければと思います。

「ボイラーとともに32年」

通所授産施設友楽荘 指導員 宗高 正義



私の仕事は、朝、ボイラーをつけることから始まります。乾燥機や熱水の洗濯機、アイロン、プレス機など友楽荘のクリーニング作業に必要な熱の供給はすべてこのボイラーが担っています。

このボイラーが友楽荘に来たのは、私が友楽荘へ入職した年と同じ平成4年の夏でした。前のボイラーはひどく大きな音がしていたので、このボイラーが来たときは、ずいぶん静かで高性能だなという印象を持ったものです。当時の友楽荘は、現在の場所から200mほど離れた積善病院の隣にありました。作業スペースが広く、洗濯機の台数も多かったため、今の何十倍ものクリーニングを請け負っていました。恵明会以外の顧客も多く、福祉施設であれば15〜20施設、一般の顧客数はおそらく千を超えていたと記憶しています。電話で連絡をいただいたお宅へ地図を頼りにお伺いし、品物が出来上がったからお届けに伺うという毎日でした。当時は、利用者の方も皆若く、大量のクリーニング品を仕上げるために懸命に働かれていました。夕方、私が集荷から戻るまで、遅

くなくても外で待つてくれていて、荷下ろしを手伝ってくれる風景を今でもよく覚えています。熟練工も多く、皆自分の仕事に誇りを持ってされていたように思います。平成24年に、今の場所へ友楽荘を移転しましたが、土地の広さの関係もあり、クリーニングの規模をかなり縮小しました。段々と需要が少なくなっていたドライクリーニングをやめることとなり、それに伴い一般顧客からの受付も終了いたしました。作業量の減少で、今の友楽荘は以前と比べればのんびりとした雰囲気です。高齢の方も多くなったのでこれくらいでちょうど良いのかもしれない。一般的にボイラーの寿命は15〜20年と言われていますから、購入から32年経ったこのボイラーは本当に良く働いたなと思います。私の前職は電気関係でしたので、特に近年はボイラーの機嫌を見ながら使っていました。いよいよ寿命となり、この度、最新のものへと買い替えることとなりました。



新しいボイラーは、「公益財団法人日本財団」の助成を受け2024年7月に導入いたしました。

これからです。多くのセンサーによって多項目で機械を監視できるようにになっており、その点においても技術の進歩を感じます。当時バリバリ仕事をしてきた利用者の方々も、老人ホームを考える歳となり、32年というのは、長い月日だったのだと実感しています。私も今年で71歳、後進に道を譲る準備をしています。これから若い方々が若い感性で友楽荘を盛り立てていただければと思います。

授産施設とは、就業能力の限られている方に就労や技能の修得の支援を行い、自立を支援する施設です。友楽荘では主にクリーニング作業を行っています。